

3 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

平成15年の人質立てこもり事件の認知件数は14件であり、すべて被疑者を検挙している（図表3 - 3 - 1）。いずれも単独による犯行で、人質が負傷した事件は2件である。

図表3 - 3 - 1 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

年次	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15
認知件数(件)	13	13	13	7	5	7	5	6	12	14
検挙件数(件)	13	13	13	7	5	7	5	6	12	14
検挙人員(人)	14	13	13	7	5	7	5	6	12	14

【事例1】新潟市における人質立てこもり事件（新潟）

4月7日、男(48)は、弁護士事務所に侵入し、職員らに包丁を突き付けるなどして立てこもった（4月7日検挙）。

【事例2】名古屋市における人質立てこもり事件（愛知）

9月16日、男(52)は、事務所に侵入し、ガソリンをまいた上、8名を人質にとり立てこもった。人質7名を解放後、ガソリンを爆燃させ、その影響により、人質、警察官及び被疑者の合計3名が死亡した（9月16日被疑者死亡）。

(2) 業務上過失事件・事故

【事例1】富士市内のビル解体工事現場における壁面倒壊事故（静岡）

3月13日、ビル解体工事現場において、壁面が倒壊し、通行人等4名が死亡、2名が負傷した（捜査中）。

【事例2】名古屋市内のコンビナート油槽所における火災事故（愛知）

8月29日、名古屋市のコンビナート油槽所において、ガソリン貯蔵タンク火災が発生し、作業員6名が死亡、1名が負傷した（捜査中）。

【事例3】葛飾区の病院における腹腔鏡手術による医療過誤事件（警視庁）

平成14年11月8日、被疑者(38)ら6名は、葛飾区の病院において、腹腔鏡による摘出手術を安全に実施するための技術等がないにもかかわらず、同手術を実施し、その際、大量出血への十分な措置を怠るなどして、心停止状態に陥らせ、低酸素状態による脳死に至らしめて、同年12月8日、死亡させた（9月25日検挙）

【事例 4】大和市内の量販店ごみ処理施設における爆発事故（神奈川）

11月5日、大和市の量販店のごみ処理施設において、爆発が発生し、警察官、消防士等11名が負傷した（捜査中）。